

# 日本体育大学

## 令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育コース 学校推薦型選抜 一般推薦
科目	小論文

### 【出題の意図】

- ・「社会に開かれた教育課程」という考え方の下、これからの学校には保護者・地域住民との連携・協働により児童生徒の資質・能力の育成に努めることが求められている。
- ・こうした中、これからの教師には、家庭や地域社会との連携の取組について、児童生徒の資質・能力の育成に一層資する観点から工夫を講じることが必要となる。
- ・以上を踏まえ、本設問では、受験生が自らの学校生活を想起し、それらを教育的意義や価値という観点から多角的に捉えなおして表現する力を問う出題とした。

### 【模範解答】

自身の経験に照らし学校が家庭や地域と連携する教育的な意義や効果を三点述べる。

一つ目は、教科学習の内容の実感を伴った理解である。私は小学校社会科の学習で地元の商店街で働く大人にインタビューをした経験がある。仕事のやりがいや面白さ、難しさなどをお聞きする中で、実際に働いている大人がどのような思いや願いをもって働いているのかを実感を持って理解することができた。このように地域と連携した教育活動を行うことにより教科書を読むだけでは実感できない生きた学びの機会を得ることができる。

二つ目は、年齢と異なる人との関わりを学ぶことである。小学校の学校行事で地域のお年寄りから竹トンボやコマ回しなど「昔遊び」について学んだり、中学校の家庭科の学習で幼稚園の幼児と遊んだりした経験がある。こうした経験を通して、年上の大人に対するマナーや言葉遣い、年下の子供への思いやりなどを学んだ。このように普段の学校生活で関わることがあまりない地域の人々との交流を通して、年齢の異なる子供や大人との実際の関わり方を自然に学ぶことができる。

三つ目は、地域社会の一員としての自覚である。中学校では学校行事のボランティア活動で地域の清掃活動に参加した経験がある。はじめは清掃を面倒に感じていたが、町内会の方と一緒に汗をかきながら、空き缶などのゴミを集めていると、地域の人に「お疲れ様」「がんばってるね」と温かく声を掛けていただいた。そうした中で、次第にやりがいを感じ活動の終了時には「自分たちの町をきれいにしよう」という思いをもつようになった。このような地域活動への参画は地域の一員としての自覚をもつことにもつながる。

以上のように、学校が家庭・地域との連携を工夫して教育活動を行うことで様々な教育効果が期待できる。児童スポーツ教育学部では、学校と家庭・地域の連携の教育効果を高めるための工夫などについてしっかりと学んでいきたい。